

志賀自然教育研究施設年報

平成8(1996)年2月～平成9(1997)年1月

I 運営委員会・常任委員会

1. 第一回運営委員会：平成8年5月29日(水) (学部第一会議室)

(1)平成7年度事業報告, (2)平成7年度決算報告, (3)平成8年度事業案, (4)平成8年度当初予算案及び(5)平成7年度の施設利用状況についてそれぞれ審議した。その結果, 平成7年度の決算報告については一部字句を修正して, その他の項目については原案どおり承認された。

上記項目以外に, 「施設の除雪機の買い替え」について審議し, 運営委員会として総務・予算委員会に「買い替え」をお願いすることになった。

2. 常任委員会：平成8年7月10日(水) (学部第三会議室)

平成10年度概算要求で, 「志賀自然教育研究施設の改組・拡充計画」を提出したい旨, 学部将来計画委員会附属志賀自然教育研究施設問題小委員会より提案があり, その構想案について常任委員と志賀施設長及び志賀施設専任教官で審議した。その結果, 基本的には上記委員会の構想案にもとずき改組・拡充計画を進めることになった。

3. 第二回運営委員会：平成8年9月6日(金) (学部第一会議室)

平成7年度決算報告の修正版, 及び平成8年度の予算案について審議し, 提案どおり承認された。

引き続き, 教育学部将来計画委員会から提案のあった施設の改組・拡充計画について施設長より説明があり, 過日常任委員会で検討した結果, 「その構想案に基づいて計画を進めたらどうか」という提言をいただいたという報告があった。

その後, 上記計画について審議し, 提案の計画に基づき改組・拡充を進めて行くことになった。

最後に, 施設研究業績34号の原稿の締め切りを平成9年1月20日とすることを報告し会議を終えた。

II 研究と教育活動

1. 志賀実習

平成8年度は, 1年生の新入生ゼミナール(志賀自然教育ゼミナール)と基幹科目・教養科目・総合科目「自然教育入門」の実習を行った。その日程を以下に記す。

第1班：8月5日～7日	第2班：8月7日～9日	第3班：9月9日～11日
第4班：9月11日～13日	第5班：9月17日～19日	第6班：9月19日～21日
第7班：9月24日～26日	第8班：9月26日～28日	(総数230名)

2. 大学院教育学研究科授業

「生物学特論Ⅰ」前期2単位, 「生物学演習Ⅰ」通年2単位で開講(別府)。

3. 出版ほか

研究業績33号(500部印刷)を3月に, 自然便り「長池の四季」(400部印刷)を5回(5, 7, 9, 12, 及び3月)編集・発行した。

4. 他大学実習ほか
 7月5日～7日 信州大学理学部実習（物質循環学科主催）
 7月24日～26日 上越教育大学生物学実習（中村雅彦助教ほか）
 7月26日～28日 大学公開講座（筒井健雄教授ほか）
5. 研修会・観察会支援活動
 5月23日 飯田市公民館主事研修の講師
 6月6日 下高井郡小・中学校教員初任者研修（木島平村カヤノ平）の講師
 6月8日 志賀高原自然教室夏季自然観察会リーダー研修会の講師
 7月17日 中野市南宮中学校の岩菅山登山に伴う自然観察の講師
 10月4日 長野市真島小学校秋期遠足に伴う自然観察の講師 など長野県内外の小・中・高校の林間学校の際の講演や説明会を多数行った。加えて、様々な団体主催の自然観察会の講師及び協力や支援。

Ⅲ 園 内 整 備

例年通り、志賀自然教育園内及びカヤノ平分園内の自然観察路の落ち葉掃除、側溝整備、笹刈り、階段整備を5月から10月まで行った。また、施設脇のロックガーデンの草取りと名札つけ、ロープはりなどの作業も随時行った。尚、平成8年の2月から3月は例年に比べ雪が多く、除雪回数もその分増加した。

Ⅳ 平成7年度の志賀施設の利用状況

1. 資料館入館者の集計表

表1 来館団体の種類

	県 外		県 内		計	
	団体数(%)	人 数(%)	団体数(%)	人 数(%)	団体数(%)	人 数(%)
小 学 校	11 (10.8)	560 (8.5)	1 (3.0)	26 (1.8)	12 (8.9)	586 (7.3)
中 学 校	19 (18.6)	2,645 (40.1)	1 (3.0)	240 (16.5)	20 (14.8)	2,885 (35.9)
高 等 学 校	9 (8.8)	892 (13.5)	0 (0.0)	0 (0.0)	9 (6.7)	892 (11.1)
大 学	5 (4.9)	234 (3.5)	6 (18.2)	197 (13.6)	11 (8.1)	431 (5.3)
一 般	58 (56.9)	2,266 (34.4)	25 (75.8)	987 (68.1)	83 (61.5)	3,253 (40.4)
計	102(100.0)	6,597(100.0)	33(100.0)	1,450(100.0)	135(100.0)	8,047(100.0)

表2 団体の県内外の比率(%)

団体の種類	小 学 校	中 学 校	高等学校	大 学	一 般
県 内	8.3	5.0	0.0	54.5	24.4
県 外	91.7	95.0	100.0	45.5	75.6

表3 月別参観者数

月	個人 (%)	団 体		計 (%)
		団 体 数 (%)	人 数 (%)	
5 月	136 (5.2)	1 (0.7)	186 (2.3)	322 (3.0)
6 月	186 (7.1)	9 (6.7)	1,399 (17.4)	1,585 (14.9)
7 月	337 (13.0)	65 (48.1)	4,220 (52.4)	4,557 (42.8)
8 月	1,536 (60.1)	47 (34.8)	1,865 (23.2)	3,428 (32.2)
9 月	165 (6.3)	4 (3.0)	69 (0.9)	234 (2.2)
10 月	198 (7.6)	9 (6.7)	308 (3.8)	506 (4.8)
11 月	17 (0.7)	0 (0.0)	0 (0.0)	17 (0.1)
計	2,602(100.0)	135(100.0)	8,047(100.0)	10,649(100.0)

◎平成7年度(平成7年5月1日～11月6日)も前年度並の入館者数(記帳者数)であった。

ここ5年間はほぼ1万人ぐらゐの入館者数が続いている。

2. 志賀施設月別宿泊利用人数

平成7年度 附属志賀自然教育研究施設月別宿泊利用人数

区 分	年・月	7年												8年			計	備 考
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月					
利 用 人 数	学 内	0	1	0	0	14	0	33	0	10	40	59	37	194				
	合宿研修等	0	0	131	214	4	35	0	0	0	0	0	0	384				
	学 外	4	0	0	57	20	0	8	0	45	90	35	10	269				
	計	4	1	131	271	38	35	41	0	55	130	94	47	(1,180) 847				
宿 泊 延 人 数	学 内	0	1	0	0	14	0	66	0	20	164	97	50	412				
	合宿研修等	0	0	131	214	4	60	0	0	0	0	0	0	409				
	学 外	4	0	0	102	40	0	16	0	63	40	64	20	349				
	計	4	1	131	316	58	60	82	0	83	204	161	70	(2,124) 1,170				

()内は平成6年度の数